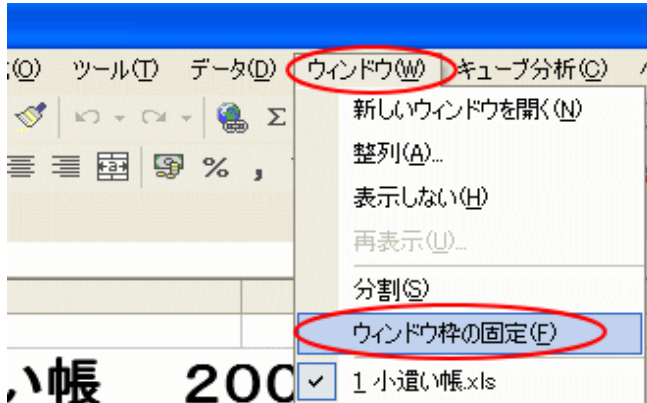


【概要】 大きな表の場合、ワークシートをスクロールすると、上部や左の項目が見えなくなり分かりづらくなります。こういうとき、「ウィンドウ枠固定」のコマンドを使うと、項目など常に表示されるようになり便利です。

【EXCEL 2003 での操作手順】

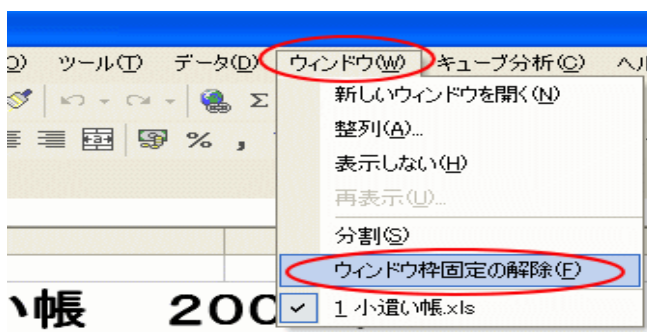
	A	B	C
1			
2	小遣い帳 2003年		
3	日付	内訳	収入
4	4月1日	母から	5,000
5	4月2日		
6	4月3日	XXXX	
7	4月4日	XXXX	
8	4月5日		
9	4月6日		
10	4月7日	XXXX	



1. 上の表の場合、セルA 4 を選択します。

2. メニューバーの「ウィンドウ」から「ウィンドウ枠の固定」をクリックします。

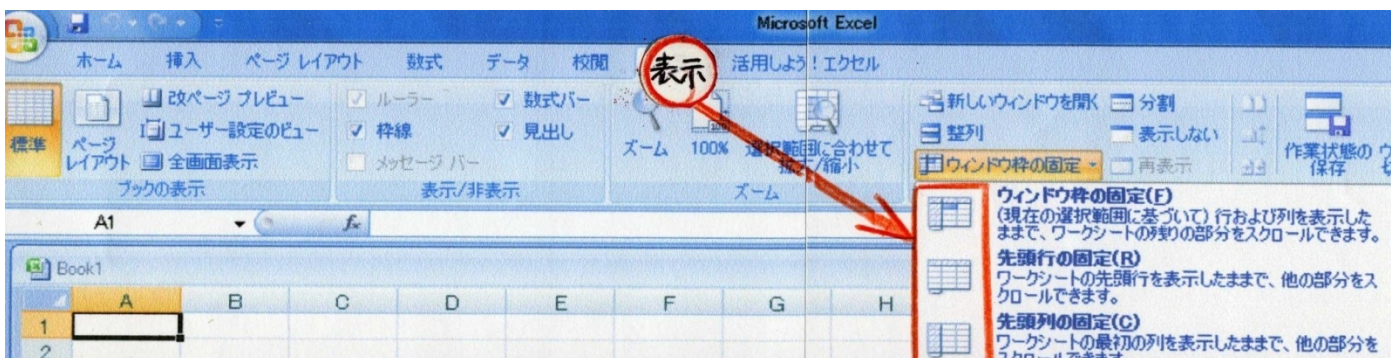
	A	B	C
1			
2	小遣い帳 2003年		
3	日付	内訳	収入
19	4月16日	XXXX	
20	4月17日	XXXX	
21	4月18日		



3. ワークシートをスクロールしても、項目の行は、常に表示されるようになりました。

4. 解除する場合は、再びメニューバーの {ウィンドウ} をクリックして、「ウィンドウ枠の解除」をクリックします。

【EXCEL 2007 での操作手順】



[表示] ⇒ [ウィンドウ枠の固定] ⇒ [F、R、C] の何れかを選択。

(F) (現在の選択範囲に基づいて) **行**および**列**を表示したままで、ワークシートの残り部分をスクロールできます。

(R) 先頭**行**を表示したままで、ワークシートの残り部分をスクロールできます。

(C) 先頭**列**を表示したままで、ワークシートの残り部分をスクロールできます。